



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

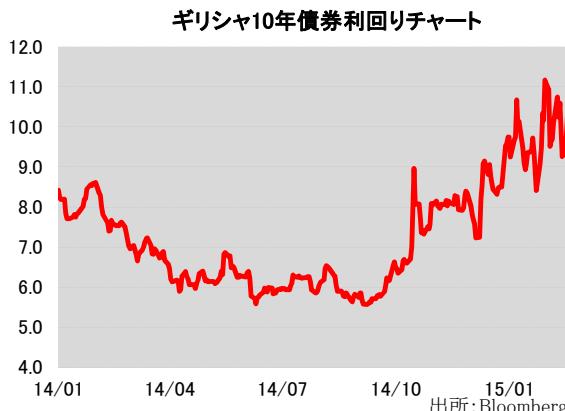
			2月12日	2月13日	2月18日	2月19日	2月20日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	2.8240	2.8350	2.8390	2.8670	2.8700	+0.0030
	BRL/JPY	Spot	42.09	41.92	41.84	41.54	41.51	-0.0300
	EUR/USD	Spot	1.1416	1.1389	1.1380	1.1361	1.1400	+0.0039
	USD/JPY	Spot	118.85	118.78	118.70	119.00	119.09	+0.0900
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	12.95	12.51	12.96	13.01	13.03	+0.0208
	Future	1Year(p.a.)	13.22	12.81	13.16	13.24	13.27	+0.0322
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.797	1.780	1.806	1.703	1.778	+0.075
	USD	1Year(p.a.)	2.440	2.446	2.443	2.369	2.383	+0.014
株式	Bovespa指数		49,532.72	50,635.92	51,280.36	51,294.03	51,237.70	-56.33
CDS	CDS Brazil 5y		244.40	238.23	230.00	236.61	242.00	+5.39
商品	CRB指数		226.097	229.190	227.275	226.254	224.758	-1.496

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2.週間市況、トピックス

- 今週はカーニバル休暇のため、ブラジルのマーケットは水曜日の午後から始まった。ドルレアルは2.8320で寄り付いた。水曜日に発表されたFOMC議事録で、政策金利を長期にわたって据え置く姿勢が示唆されたことからマーケットではドル売りの動きが見られ、レアルは週間高値となる、2.8290をつけた。
- 水曜日に発表された中銀によるアナリスト予想調査では、2015年のGDP成長率予想が7週連続で引き下がれ、0%から▲0.42%となり、いよいよマイナス成長予想がマーケット予想のコンセンサスとなったことが示された。一方、2015年のインフレ率予想は7.15%から7.27%へ引き上げられ、こちらも7週連続の引き上げとなった。為替レート予想は2015年末が2.90、2016年末が2.93といずれもレアル安方向に修正された。
- 週後半はブラジルのファンダメンタルズの弱さに加えて、ギリシャの問題に焦点が当たり、新興国通貨が売られやすい地合いが続いたことから、レアルはじり安の展開となった。
- 週末にかけてはギリシャ支援の合意のためにユーロ圏の財務相会議が開催され、交渉が難航しているとの報道にレアルは週間安値となる2.8840をつけた。しかし結局は合意が成立し、レアルは買い戻され、2.8700で越週した。

3.今週のチャート＆ハイライト



ギリシャ支援協議佳境へ

18日にギリシャはELA(緊急流動性供給プログラム)を現在の650億ユーロから700億ユーロに増額するようECBに要請したが拒否された。しかし、683億ユーロまでは増額され、混乱は避けられた。更に19日、ギリシャ政府は今月末で終了する2400億ユーロの救済融資の期間延長を要請し、ユーロ圏債権国に書簡を送ったが、当初の条件を満たしていないとして独が即座にこれを拒否した。20日にはユーロ圏財務相会合で合議が行われ、一時はドイツがギリシャのユーロ脱退を容認するとの報道も出たが、結局は合意が成立し、4ヶ月の延長が認められた。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：2.80—2.90

ギリシャ支援をめぐる交渉が合意に至り、根本的な解決ではないものの、財政破綻の懸念が当面なくなったことを受けて、ギリシャの問題を背景としたリスク資産売りの動きは一旦トーンダウンするだろう。しかし、ファンダメンタルズが弱く、買い材料を見出せないレアルの反発は限定的と見ている。

来週はドルサイドの大きな材料として24日と25日にFRB議長の定例議会証言がある。前回のFOMCでは早期利上げに慎重な姿勢が示され、市場参加者の驚きを買った。2015年半ばには利上げがあると見込んでいた市場参加者が大勢であったが、この時期がどれ位後ずれするのか、もしくはしないのかに市場の注目が集まる。前回のFOMCは非常に強かった1月の雇用統計が発表される前に開催されており、イエレン議長がどのような認識を議会に説明するかに注目が集まっている。利上げに慎重な姿勢が示されればドルは売られて相対的にレアルは上昇しよう。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
EC	マーキットヨーロッパ製造業PMI	51.5	51.1	51.0
米	マーキット米国製造業PMI	53.6	54.3	53.9

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
独	2/23	IFO企業景況感指数	Feb	107.7	106.7
ブラジル	2/23	FGV CPI IPC-S	Feb-22	--	--
ブラジル	2/23	貿易収支(週次)	Feb-22	--	--
ブラジル	2/23	登録雇用創出合計	Jan	-21756	-555508
ブラジル	2/23	税収	Jan	122500M	114748M
ブラジル	2/24	IBGEインフレ率IPCA-15(前月)	Feb	1.3%	0.9%
ブラジル	2/24	海外直接投資	Jan	--	\$6650M
ブラジル	2/24	経常収支	Jan	-\$10600M	-\$10317M
ブラジル	2/25	融資残高	Jan	--	3022B
ブラジル	2/26	FIPE CPI-週次	Feb-21	--	1.57%
ブラジル	2/26	FGVインフレIGPM(前月比)	Feb	--	0.8%
ブラジル	2/26	失業率	Jan	--	4.30%
ブラジル	2/27	中央政府財政収支	Jan	--	1.0B
ブラジル	2/27	基礎的財政収支	Jan	--	-12.9B
米	2/27	GDP(年率/前期比)	4Q	2.1%	2.6%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて、お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。